

妙智會

7月14日 うら盆供養
午前；本部本殿大講堂 午後；千鳥ヶ淵戦没者墓苑
宮本法嗣先生ご指導

Vol. 67
2022. 7. 19
1/2

【本部うら盆供養】

今年のうら盆供養では、霊界からのお慈悲を頂いて、うら盆供養では3年ぶりに献灯献華献供をさせて頂きました。

お役に対する青年部の姿勢が、とても尊く素直で、どんなにご先祖さまが喜んで下さっているかと思いました。

本日は「供養に対する姿勢」をお話させて頂きます。

妙智會は、先祖供養を根本教義としておりますが、長年妙智會をやっていると、慣れて感謝がなくなってしまうです。

大導師さまは、うら盆とは「1年の総供養の日」とご指導くださいましたので、ぜひ、今日は供養に対する自分の姿勢がどうだったのか振り返り、懺悔と決じょうして頂きたいと思います。

妙智會の正しい先祖供養とは「長年ご修行をされている方でも、先祖を集めることを止めずに集め続けることが肝要です」と大導師さまからご指導を頂戴しております。

会主さまも大導師さまも「ここで先祖を集めることを終わらせていいですよ」とは仰っていないのです。

ここをもう一度しっかりと改めなければなりません。

そして、私達はご先祖さまに妙智會のご法名をおつけして、お過去帳に書写し、総戒名をお祀り込みしてお経をあげています。

しかしお経だけではなく、お導きをし、自分の根性を改める努力をして、自分自身が光り輝く事が重要なのです。

そうすることによって「暗闇の奥にいらっしゃるご先祖さまに光を届ける事ができる。そして、今の私達のいろんな悩みや全てが解決していくのです」と会主さまが仰っておりました。

妙智會は、会主さまが説かれた先祖供養の教えです。

会主さまのご指導通りにさせて頂かなければならないのです。

自分に負けず、愚痴を言わず、会主さま大導師さまを信じ、それを信者さんに伝えることが私達の役目です。

特に長年されている方は、今日のような日にこそ、会主さま大導師さまにお誓いしたことを思い出して、懺悔し決じょうを持つことで、皆さんの先祖に光を照らすことができると、繰り返しお伝えして、本日のうら盆に対する私の指導と致します。

【戦没者うら盆供養】

今、日本ではいろんなことが起きていますが、どんなに世の中が変わっても、一人一人の心が変わらなければ平和は訪れません。

会主さまからは「国の争いは人の争いです。その争いの元は人の心です」と長年ご指導を下さっております。

ここはとても大事なことです、しっかりと頂戴し、自分の悪い根性を一つ一つ改めるご修行をお願いいたします。